

高円宮賜杯 第39回 全日本学童軟式野球大会 【マクドナルド・トーナメント】千葉県予選大会







2019年 5月26日(日)・6月1日(土)・2日(日)

- ・青葉の森スポーツプラザ野球場
- ・稲毛海浜公園スポーツ施設野球場 A
- ・稲毛海浜公園スポーツ施設野球場 B
- ・百目木公園野球場 A

《参加チーム》 トーナメント表順

- | | |
|---------------------|------------------|
| ★東金東クラブ (九十九) | ★鶴指少年野球部 (市川) |
| ★泉谷メッツ (千葉) | ★常盤平ボーイズ (東葛) |
| ★オール五井ヤップオーシャン (市原) | ★海上マリンキッズ (東総) |
| ★千葉ヤンキース (印旛) | ★峰岡インパルス (安房) |
| ★勝田ハニーズ (八千代) | ★請西ブレーブス (かずさ) |
| ★野菊野ファイターズ (東葛) | ★習志野台赤トンボ (船橋) |
| ★弥勒少年野球クラブ (北総) | ★習志野フェニックス (習志野) |
| ★豊上ジュニアース (柏) | ★浦安ドルフィンズ (葛南) |

《試合結果》 トーナメント表は県HP試合結果に揭示しております。

-  **優勝 豊上ジュニアース** (柏 地域)
-  **準優勝 鶴指少年野球部** (市川地域)
-  **第三位 オール五井ヤップオーシャン** (市原地域)
-  **第三位 習志野台赤トンボ** (船橋地域)



★ 豊上ジュニアース 主将 酒井 一玖 (サカイ イツキウ)

「絶対優勝して全国に行く」この想いを胸に低学年のころから必死に練習してきました。試合を多くやらせていただき、どこのチームよりも経験を積み、どこのチームよりも練習したという自信が僕たちにはありました。そして挑んだ県大会。One for all, All for one. 誰かが失敗したら誰かがカバーする。このことができて、県大会優勝を勝ち獲ることができました。戦ったチームには涙を流している選手も数多くいました。千葉県代表が豊上で良かったと思ってもらえるよう、プレーはもちろん、挨拶、礼儀もしっかりし、絶対に優勝したいと思います。



★ 豊上ジュニアース 推薦選手 金子 昂永 (カネコ コウエイ)

僕は初戦から決勝戦までの4試合全て先発で、どの試合も良いピッチングが出来たと思います。何度か打たれた強い打球もみんながとってくれたので安心して投げ続けることが出来ました。一番緊張したのは決勝戦でした。2点リードでむかえた4回に、ホームランを打たれ1点差になってしまいました。でも、その後は点をとられなかったので良かったです。全国でも仲間を信じて全力投球でがんばります。そして優勝旗を千葉に持ち帰りたいです。



★ 豊上ジュニアース 監督 高橋 範哉

このチームの監督を引き受けた3年前、その頃の子供達に理解できていたかどうか？【全日本学童で始まり、全日本学童で終わる】をスローガンにして言い続けてきました。流石に3年も言い続け子供達も6年生になると、全日本学童という大会への意識が強くなり、大会前から子供達から今までにない野球に対する気力を感じました。大会が始まると、市内予選から主力メンバーが何人もケガで欠き、監督が不安でいる中、今まで控えて回っていた選手達が本当に良く頑張ってくれました。豊上の全日本学童は、まだ終わっていません。最高の夏にしたいと思います。



★ 鶴指少年野球部 主将 内山 諭 (ウチヤマ サトル)

僕は全日本学童千葉県大会優勝を目指して練習してきました。1回戦、2回戦は、体がガチガチでした。でも、ベンチのみんなが励ましてくれたので、緊張がほぐれていき自分のプレーが出来、勝てました。準決勝では持ち味である全員野球と諦めない心で何とか勝つ事が出来ました。決勝では最後に自分たちのエラーで負けました。とても悔しかったです。監督やコーチ、サポートしてくれた人に心から感謝しています。



★ 鶴指少年野球部 推薦選手 山中 豪 (ヤマナカ コウ)

僕は、野球を始めた1年生のころから全日本学童の大会で優勝する事を目標に練習してきました。なぜかという、兄もこの大会で優勝し全国大会に出場したからです。6年生の市川市春季大会で初めて優勝し県大会が決まった時は、とても嬉しかったです。そして臨んだ全日本学童大会では、1回戦から決勝まで、よく打てたと思います。準決勝ではチームが一つになり逆転勝利が出来ました。決勝では自分のピッチングが出来ず負けてしまい凄く悔しいです。もう1回豊上ジュニアースと対戦したいです。次は鶴指少年野球部が勝つ！！



★ 鶴指少年野球部 監督 橋本 英樹 (ハシモト ヒデキ)

全日本学童千葉県大会に出場、そして、参加させて頂き本当に感謝です。一つ勝つごとに、子供達が自信に満ちて行く顔、笑顔が増え、チームメイトを必死に応援する姿、チームが一つになって行く様子が、とても心地よく感じました。この大舞台上、ミスを恐れずダイビングキャッチ、ファーストへ決死のヘッドスライディング、必死なプレーに感動しっぱなしでした。全国大会出場は出来ませんでした。この短い大会期間で子供達の大きな成長を感じられる、本当に素晴らしい大会でした。